

金竜だより

令和3年 11月30日
台東区立金竜小学校
TEL 3 8 7 1 - 9 8 9 3
ホームページ



<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230>

今年の締めがすてきに過ごせますように

副校長 田中 路子

金竜の里も秋から冬へと季節が変わろうとしています。緑生い茂るビオトープの木々もとてもすてきなのですが、赤く色づいた紅葉や桜の葉が職員室からとてもきれいに見えるこの季節も、樹木が豊富な金竜小学校ならではの光景で、私はとても好きな季節です。毎年この季節になると、ビオトープを管理してくれているビオ環境計画研究所の桐生先生が、樹木を剪定してくれる親方と共に学校に来て、ビオトープの環境を考えながら樹木を剪定してくれます。今年は、2年ぶりに行われた浅草警察の方と1年生がチューリップの球根を植える日が、偶然ビオトープの樹木選定の日に該当していました。1年生は、ビオトープの横の通路でチューリップを植えていたので、親方が樹木に縄をかけてするすると上がり、樹木を剪定する姿がよく見えていたのでしょう。球根を植える順番を待っている1年生から、「親方、頑張れー！」と声上がり、「頑張れ！頑張れ！」と応援する掛け声が続きました。聞いている私も嬉しくなるほどの応援団だったので、きっと親方も嬉しいだろうなあと思い、思わず笑顔になりました。一日の仕事が終わり、親方が帰り際に、「あんなに応援されちゃ、頑張らないわけにいかないなあ。」と笑顔でおっしゃった姿が印象的でした。私もそうですが、やっぱり人は誰かに応援されると嬉しかったり、もっている力以上のことができたりするんだなあと思えて感じました。

気が付けば、今年の残りもあと一か月。学習のまとめの月にもなります。素晴らしい一年の締めくくりになるように、今年できなかったこと、もっと伸ばしたい得意なことなど、それぞれを頑張る子供たちを応援する一か月にしたいです。

12月4日(土)～10日(金)は、人権週間です。法務省の人権擁護機関では、期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。しかし、今なお、新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見・差別、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待、外国人や障害のある人、ハンセン病元患者やその家族などに対する偏見・差別など、様々な人権問題が依然として存在しています。

学校としても人権を意識して日々の教育活動にあたっていますが、インターネット上のトラブルを始め、学校だけでは指導しきれない内容もたくさんあります。「どこかの世界の誰かのこと」ではなく、「自分事」として問題を捉え、自分がその立場に立ったらどうなのか、人としてよりよく生きるためにはどんな思いをお互いにもつことが大切なのか、いつも考えられるようにしていきたいです。人権週間、御家庭でも話題にしていいただければ幸いです。

金竜スポーツフェスティバル

体育的行事委員会

新型コロナウイルス感染防止に伴い、今年度も運動会を実施することができませんでした。しかし、金竜スポーツフェスティバルの中で、表現および走の運動の学習を保護者の方に発表することができて嬉しく思います。

各学年、練習の段階から、密を避けることを意識し、工夫を凝らして活動に取り組みました。低学年では、ドラえものの曲に合わせて可愛いダンスを披露しました。みんな笑顔で踊る姿が印象的でした。中学年では、花笠音頭に挑戦し、花笠につけた鈴の音が心地よく響き渡りました。声を出せなかったため、事前に「やっしょー、まかしょー」などのかけ声を録音し、本番で用いました。高学年では、ダンスやフラッグ、集団行動に取り組みました。「I'm possible! We are possible!」をテーマに、難易度の高い動きも何度も練習を重ね、やりきることができました。様々な制限がある中で児童は我慢することも多かったと思いますが、みんなで協力しながら一生懸命頑張ることができました。

また、今年度はリレーや応援団の活動の幅が広がったり、金管バンドの演奏を行ったりすることができました。例年の運動会と比べると物足りない部分もあったと思いますが、代表児童は責任をもって活動に取り組み、立派な姿を披露できました。

保護者の方々には、御不便をかけることも多々ありましたが、感染防止対策に御協力いただき、スムーズに進行することができました。誠にありがとうございました。